

第 32 回法人会全国大会・徳島大会報告

会長 田島淳次

去る 10 月 8 日（木）澄み渡る青空のもと、第 32 回法人会全国大会が徳島市の「アスティとくしま」で全国法人会 4 4 1 単位会、各界のご来賓など大凡 2,000 名の参加者で開催されました。徳島県連にあっては数日前の準備から、当日早くからの大会 PR 新聞の袋づめ等、我が阿波麻植法人会の担当は女性部会が来場受付等、青年部がウエルカムドリンクの配布やクロークでの業務を手際よくこなした。

大会は午後 2 時よりからの開始にも拘らず、12 時頃から参加者が登録されはじめ、午後 1 時過ぎには広い会場内も人の多さで、自由に歩けない程であった。

式典に先立ち、パネル・ディスカッションが開催され「日本の山里に、こんな仕事・移住企業もありますよ」というテーマで、「料理のつまもの」で有名な上勝町の株いろどり社長・横石知二氏と神山町 NPO 法人グリーンバレー理事長の大南信也氏に現在の活動状況をビデオで紹介され、（公財）徳島経済研究所の田村耕一氏がコーディネーターとして進行された。全国の何処にでもある風景ながら、リーダーシップの取れる人の意識と将来を見据えた行動力が一味も二味も違った世界を創造する、全国の参加者は熱心にお二人のお話に聞きいていたのが、印象的でした。

第二部の記念式典は、古川徳島県連会長の開会挨拶から始まり、来賓の中原国税庁長官の祝辞等、続いて各種褒賞、税制改正提言報告、大会宣言等、そして閉会挨拶は次年度開催地の長崎県連会長が PR を添えて、締め括られた。

第三部は大懇親会で「アスティとくしま」の会場を半分に仕切り、横に広い会場となり、テーブルには徳島らしい食材が並び、全国からの会場溢れんばかりの参加者の舌をもてなした。余興として徳島を代表する娯茶平連の阿波踊りが華を添え、来場者も「よしこの」のリズムに浮かれ、舞台上でもフロアでも乱舞がひとしきり続き大会を盛り上げた。

懇親会閉会の挨拶が奇しくも、私が担当し来場の御礼と「江戸締め」の一つで「一つ目あがり」「のぼりメ」と言われる、末広がりの手締めで最期を締め括り、大きな一日が幕を閉じました。

結びにあたり、お手伝い戴いた会員の皆様やお忙しい中、出席された役員の皆様、総勢 26 名に、改めて御礼を申し上げますと共に、今後とものご支援をお願いしつつ、報告と致します。